

2024年12月3日

各位

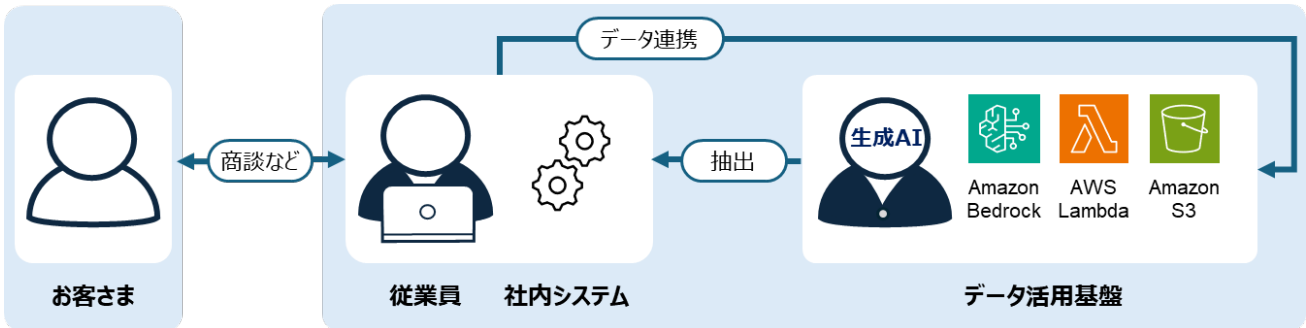
株式会社 SBI 新生銀行
代表取締役社長 川島 克哉

データ活用基盤の生成 AI に最新 LLM の Claude 3.5 Sonnet を導入 ～社内業務の効率化を加速～

このたび、株式会社 SBI 新生銀行(本店:東京都中央区、代表取締役社長:川島 克哉、以下「SBI 新生銀行」)は、データ活用基盤で機能する生成 AI に、最新の LLM(大規模言語モデル)となる Claude3.5 Sonnet^{※1} を導入いたしました。

SBI 新生銀行ではこれまで、グループ内のデータベースを統合するため、アマゾン ウェブ サービス(以下「AWS」)のインフラと従来の利用可能なモデルである Claude 2.1^{※1} を活用した、データ活用基盤の構築およびクラウドシフトを進めてまいりました。2024年8月より、AWS が提供する「Amazon Bedrock」^{※2} で利用可能な Claude 3.5 Sonnet^{※1} が、アジアパシフィック(東京)リージョンにおいて提供開始となったことに伴い、当行においても Claude 2.1 から Claude 3.5 Sonnet へのバージョンアップを実施し、さらに高精度な情報抽出が可能となりました。

具体的には、これまで生成 AI の活用で実現してきた法人営業の業務効率化や、情報・データの可視化、情報格差の削減などの組織一体化の推進に加え、取引先との折衝記録のより迅速な把握や、コールセンターに寄せられるお客様の声のより詳細な分析が可能となり、営業効率の向上やサービスのさらなる改善につながることを期待されます。



当行では、今後も生成 AI を中心としたデジタル技術のビジネス活用およびデータ分析力の高度化を積極的に促進することで「顧客中心主義」を徹底し、当行の中期経営計画に掲げている「先駆的・先進的金融を提供するリーディングバンキンググループ」を目指してまいります。

※1: Claude 2.1 と Claude 3.5 Sonnet: 米 Anthropic 社が提供する生成 AI モデル

※2: API を通じて生成 AI の基盤モデルを利用できる AWS フルマネージドサービス

※ 記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

以上

お問い合わせ先

SBI新生銀行 サステナビリティ&コミュニケーション統括部
報道機関のみなさま: SBIShinsei_PR@sbishinseibank.co.jp